

令和 5 年笛吹市議会第 2 回定例会

令和 5 年笛吹市議会第 2 回定例会の開会に当たり、提出した案件につきまして、その概要を御説明申し上げますとともに、前回定例会以降の行政運営の状況について申し述べ、議員各位並びに市民の皆様に御理解を賜りたいと存じます。

はじめに、第 18 回笛吹市桃の里マラソン大会についてです。

4 月 2 日、第 18 回笛吹市桃の里マラソン大会が 4 年ぶりに開催されました。

当日は、満開の桜と桃の花が共演する、本市でしか見ることのできない景色の中を、1,534 人のランナーが笑顔で駆け抜けていました。

次に、笛吹市桃源郷春まつり第 18 回全国ゲートボール大会についてです。

4 月 15 日、16 日の 2 日間を予定していた、笛吹市桃源郷春まつり第 18 回全国ゲートボール大会は、荒天のため 15 日の競技が中止となり、16 日のみの開催となりました。

16 日は天気恵まれ、県内外の 76 チーム、410 人の選手が、日頃の練習の成果を発揮し、熱気あふれる大会となりました。

次に、FUJIYAMA ツインテラスへの来訪状況についてです。

FUJIYAMA ツインテラスへの送迎バスは、4 月 25 日から 11 月 27 日まで、火曜日を除いて運行しており、5 月末までの利用者数は、昨年を上回る約 5,000 人となりました。特に、ゴールデンウィーク期間中の 5 月 5 日には、1 日当たりとしては過去最多の 665 人が乗車しました。

今年度は、観光拠点としての魅力向上を図るため、すずらん群生地駐車場に売店や休憩所を設置し、集客施設として整備するほか、車両のすれ違いが困難な市道 7033 号線を整備します。

次に、「世界農業遺産認定授与式」についてです。

5 月 22 日、イタリアのローマで開催された世界農業遺産認定授与式に、甲州市長、山梨市長とともに出席し、国連食糧農業機関から認定証が授与されました。

当日は、新たに世界農業遺産に認定された 12 か国、24 地域が出席する中、各地域によるプレゼンテーションが行われたほか、展示ブースが開設され、峡東地域の扇状地に適した果樹農業システムを世界に向けてアピールしてきました。

今後は、世界農業遺産の認定地であることを国内外に広くアピールし、峡東地域の果樹のブランド力の向上や世界農業遺産を活用した集客などの取組を進めていきます。

次に、「第 3 回全国桃サミット in やまなし」の開催についてです。

7 月 6 日、7 日の 2 日間、私が会長を務め、全国の桃産地の 29 団体で構成する日本桃産地協議会による「全国桃サミット in やまなし」が、山梨市で開催されます。

当日は、関係者 150 人が集まり、市場担当者による桃の輸出、販売に関する基調講演、農林水産省の担当者による米国産桃の輸入解禁についての情勢報告のほか、各産地の JA 担当者など関係者による産地間の情報交換などが行われます。

次に、笛吹市夏祭りの開催についてです。

今年度の夏祭りは、7 月 20 日から 8 月 17 日までの水曜日、木曜日、土曜日、日曜日に「笛吹川石和鶉飼」を、8 月 19 日と 26 日の 2 日間は「石和温泉花火大会」を開催します。

「笛吹川石和鶉飼」は、本市でしか見ることのできない徒歩鶉の実演のほか、参加希望者が鶉匠の衣装を身にまとい、鶉匠と一緒に川に入ることでできる鶉匠体験も行います。

「石和温泉花火大会」は、2 日間ともに約 3,000 発の花火を打ち上げます。

市内外の多くの皆様に「笛吹の夏」を楽しんでいただきたいと思います。

次に、子育て世帯生活支援特別給付金についてです。

子育て世帯生活支援特別給付金は、食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対し、児童一人当たり国が支給する 5 万円と県が上乗せする 5 万円を合わせて、児童一人当たり合計 10 万円を支給しています。

5 月 29 日には、給付対象者のうち、申請が不要な令和 5 年 3 月分の児童扶養手当受給者及びひとり親世帯以外の令和 4 年度「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」受給者に給付金を振り込みました。

また、申請が必要となる物価高騰の影響により家計が急変した世帯等については、市ホームページや広報紙などで申請に必要な書類等を御確認の上、令和 6 年 2 月 29 日までに申請するようお願いします。

次に、地区防災計画の策定支援及び土砂災害訓練の実施についてです。

地区防災計画は、行政区の住民が行う自発的な防災活動を記載し、自助・共助を中心とした「地域による地域のための防災計画」で、今年度は、居住地のほとんどが土砂災害警戒区域に指定されている芦川町の 4 行政区をモデル地区に選定し、計画の策定支援を行います。

芦川町は、台風等の大雨の際、土砂災害の危険性が高く、県道の通行止めが想定されることから、孤立化の防止や御自身で町外に避難することができない住民の早期避難などを目的に、令和 3 年度から行政バスを活用した全町避難に向けた訓練や検討を行ってきました。

今年度は、これまでの土砂災害訓練の内容等を踏まえ、地区防災計画の策定を支援することとし、6 月 21 日には、土砂災害訓練を兼ねた計画策定のための第 1 回ワークショップを開催します。

次に、スコレーセンターの改修についてです。

スコレーセンターでは、照明設備の LED 化、トイレの洋式化、空調設備及び舞台設備の改修を行うため、5 月 1 日から 8 月 31 日まで全館を休館としています。

スコレーセンター内の石和図書館は、開館し、本の貸出などを行っていますが、空調が使

えないことから、長い時間滞在するような学習席の利用や館内での読書を控えていただいています。

市民の皆様には御不便をお掛けしますが、御理解、御協力をお願いします。

次に、公園遊具の更新についてです。

市内の公園の遊具については、老朽化などにより使用を禁止している遊具が複数あり、遊具の長寿命化を図るため、計画的に更新を行うこととしています。

令和4年度は、石和小林公園において、トンネル遊具及びブランコを更新しました。また、樹木の伐採、駐車場や水飲み場の設置なども行い、開放的で利用しやすくなった公園に、多くの親子連れが訪れています。

今年度は、八代ふるさと公園において、8月以降、舟形遊具及びローラーすべり台に変わる新たな遊具の設置、コンクリートすべり台の補修、スプリング遊具の更新などを行います。工事期間中は、安全確保のため遊具全般の使用の禁止を予定しており、供用開始は令和6年4月を見込んでいます。

多くの方に訪れていただき、子どもたちが安心して遊べるよう取り組んでいきます。

令和5年6月13日

笛吹市長 山下 政樹